

# 加齢、病気、死に伴う心の変化を よりよく理解するために

人間科学研究科 人間行動学講座

准教授 **中川 威**

Researchmap <https://researchmap.jp/spinkids>



## 研究の概要

私たちは、生きることの量を重視し、人生100年時代とも呼ばれる長く生きられる社会を築いてきました。しかし、生きることの質に目を向けた時、幸せに生きられる社会を築いてきたのでしょうか。私は、「若い、病み、死ぬとしても、人は幸せに生きられるか」という問いに答えるため、同じ人を何日も、何年も追跡する研究を行っています。こうした研究は多くの方々の協力を得て行なっています。身体、社会、心理の変化を捉えるために、医学、社会学、心理学といった様々な学問分野の研究者の協力を得ています。また、病気や障害のある人を追跡するために、自治体の協力を得ています。

## 研究の背景と結果

医療、福祉では、健康は、単に病気や障害がないことだけでなく、身体的、社会的、心理的に良い状態と定義され、政策と実践の目標としてウェルビーイングが重視されつつあります。高齢期では、病気や障害を経験しやすくなるため、ウェルビーイングが低下すると考えられてきました。しかし、その直観に反して、多くの人はウェルビーイングを維持するという結果が報告されています。高齢期にウェルビーイングが安定するという現象はエイジングパラドックスと呼ばれ、なぜそうした現象が生じるかという問いに答えようとする研究が現在も行われています。

これまでの研究から、多くの人ではウェルビーイングが維持される一方、病気や障害のある人や死が近い人ではウェルビーイングが低下することが明らかになっています。さらに、病気や障害、死に伴って、ほとんどの人ではウェルビーイングが低下する一方、わずかな人ではウ

ルビーイングが維持あるいは改善することも明らかになりつつあります。しかし、なぜウェルビーイングの変化が人によって異なるのかという問いにはっきりした答えは得られていません。

私の研究では、病気や障害、死に伴う心身の健康の変化を捉えるため、病気や障害、死を経験する前から10年以上にわたって人々を追跡してきました。研究の結果から、病気や障害を経験する前や死が近づく前に、家族であっても、家族でなくても、人とのつながりを築いているわずかな人では、病気や障害、死によって心身の健康が低下しにくく、その維持や改善が支えられることが示唆されました。

これらのエビデンスに基づくと、医療、福祉サービスが必要になる前から、人との豊かなつながりのある社会を築くことが重要になるでしょう。一方で、残された問いとして、病気や障害を経験した後や死が近い時に、医療、福祉サービスがウェルビーイングの維持や改善を支えることができるのか、まだ明らかになっていません。

## 研究の意義と将来展望

平均寿命と健康寿命の差が広がり、病気や障害のある期間が長くなり、医療費や介護費が増えています。私の研究は、こうした課題の解決に役立つと考えています。具体的には、病気や障害のある人を追跡することで、医療や福祉サービスが心身の健康の維持や改善に有効かという問いへの答えを得られます。そのため、こうした研究には、政策と実践にエビデンスに基づく示唆を提供できる意義があります。現在、遠方の研究機関と自治体の協力を得て、要介護者と家族を追跡する研究を行っています。将来、学内外の研究者や近隣の自治体からの協力を得て、病気や障害のある人を追跡する研究の展開を願っています。

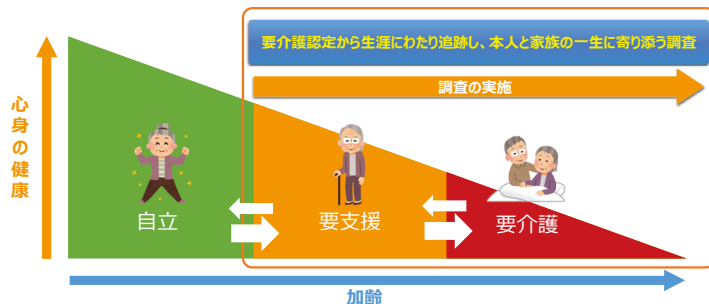


図1 病気や障害のある人を追跡する研究の構想



図2 要介護者と家族を追跡する実施中の研究

特許

論文

Nakagawa, Takeshi; Hülür, Gizem. Social integration and terminal decline in life satisfaction among older Japanese. The Journals of Gerontology Series B: Psychological Sciences and Social Sciences. 2020, 75(10), 2122-2131. doi: 10.1093/geronb/gbz059  
Nakagawa, Takeshi; Noguchi, Taiji; Komatsu, Ayane et al. The role of social resources and trajectories of functional health following stroke. Social Science and Medicine. 2022, 311, 115322. doi: 10.1016/j.socscimed.2022.115322

参考URL

<https://www.ncgg.go.jp/ri/lab/cgss/department/social/yorisoai.html>

キーワード

加齢、高齢期、ウェルビーイング、ケア